

いちょう通信

平成 25 年 3 月 (第 3 号)

発行 社会福祉法人 八王子いちょうの会

〒193-0834 東京都八王子市東浅川町 666

TEL 042-673-8055 / FAX 042-673-8054

あれから 1 年が過ぎました

「社会福祉法人」と「いちょう工房東浅川」

いちょう工房東浅川 施設長 吉村博之

あのスタートから早いもので、もう一年が過ぎてしまいました。いちょう工房東浅川は、多くの利用者さんが活動出来る事業所で、これだけの人数が 1 つの事業所に集まるのは、いちょうの会の歴史の中で初めての出来事でした。又、今までの活動内容が違った利用者さんや職員が、いろいろな事業所から集まりました。それ故、利用者さん、保護者の方、職員も、不安の中スタートしたと思います。始めは、利用者さん、職員は、毎日を過ごしていく事が精一杯でした。しかし、利用者さん・保護者・職員の努力、気持ち、協力で徐々に一つの事業所としてまとまっていき、いちょう工房東浅川として、大きな「わ」が出来て来ていると思います。又、社会福祉法人としてのいちょうの会は、日々問題に直面しながらも、社会福祉法人として、一步一步前に進んでいます。

一年が過ぎ、社会福祉法人として、又、いちょう工房東浅川事業所として、2 回目のスタートの時期に来ているのかなとも思います。これからも皆様の、ご支援、ご協力をたくさん頂くとは思いますが、皆さんと一緒に、社会福祉法人八王子いちょうの会を大きくしていければと思います。

八王子遊技場組合様より ご寄付頂きました！

平成 24 年 1 月 27 日「日野 SAP」にて八王子遊技場組合様による、チャリティーボーリング大会及び、寄付金 20 万円の贈呈式をして頂きました。

当日は、ガーターにカバーをして下さったり、足の悪い利用者さんもボーリングが楽しめる機材を用意して下さいと、いたれりつくせりの対応をして頂きました。またヤクルトさんからは飲み物とサンドイッチのお土産までご用意下さいまして、利用者さんは皆さんニコニコでした。

毎年この様にあたたかいお気持ちを頂戴いたしまして、心より感謝申し上げます。お世話になりまして、ありがとうございました。



利用者さんのご家族から、7 段飾りのりっぱなお雛さまを頂戴しました。いまケアホーム アイビーのリビングに飾られています。3 月 3 日まで利用者さんたちを華やかな気持ちにしてくれることでしょう。

～ボランティア募集！～

当法人では、ボランティアを募集しています。知的障害の利用者さんのために是非ボランティア活動をしてみませんか！

● 場所

「ケアホーム アイビー」

八王子市東浅川町 666

● 内容

- ◎ 平日の夕方や週末などに、リビングなどでゲームや趣味をする際の補助。
- ◎ 行事の際の補助など。

問い合わせ先 (久松・和田) TEL 042-662-2620



クリスマス会



昨年12月17日（月）、いちょうの会全事業所による合同のクリスマスパーティーが行なわれました。大和田橋のホテルニューグランドのホールを貸し切り、利用者さんと職員を合わせて200人近い参加者が集まり、それぞれ思い思いのオシャレをして会は始まりました。

まずはいちょう工房虹さんのハンドベル演奏。この日のために練習してくれたクリスマスらしい曲を演奏してくれてパーティーのムードは上がっていきます。演奏が終わるといよいよお食事が運ばれてきました。前菜、スープ、サラダと次々出てくる料理にナイフとフォークを使い、普段とは違う雰囲気のコース料理を楽しみました。

デザートが運ばれるとステージがにぎやかになってきました。職員の有志によるバンド演奏です。日常とは違う職員の姿に利用者さんも職員も驚いた様子でしたが、ノリノリで演奏を楽しんでくれていました。

演奏中、サンタクロースの飛び入りで皆さんにプレゼントのサプライズがあり、クリスマスパーティーは大成功に終わりました。

新年会

平成25年1月5日（土）、海苑八王子店にて「八王子いちょうの会同新年会」が行われました。利用者56名、保護者13名、職員36名、理事・評議員12名、ご来賓26名の合計143名の参加をもって盛大に開催された今年の新年会は、華やかな雰囲気の中、第一部においては八王子市長はじめご来賓の皆様よりご挨拶とお祝いのお言葉をいただきました。続く第二部は、いちょう工房さんなんの家の利用者さんによる乾杯で幕開けしました。おいしい中華料理を楽しみながら、いちょう工房虹の皆さんによる素晴らしいハンドベルの演奏に誰もが感動し、カラオケ大会では人気アイドルのヒット曲の熱唱に思わず踊りだしてしまう利用者さんもいらっしゃいました。恒例の福引大会では、当たった景品に悲喜こもごも(?)でしたが、厳しい寒さを吹き飛ばすような大盛り上がりとなりました。最後は参加者全員で「勇気100%」を合唱し、大盛況のうちに閉会となりました。皆さん笑顔溢れる晴れやかな表情で、新しい年の門出にふさわしい、素晴らしい新年会でした。ありがとうございました！



職員紹介

2月よりケアホーム「アイビー」、ショートステイ「ふ・ふ・ふ」の施設長に着任した久松正史です。今まで高齢者福祉、医療の経験はあるのですが、障害の分野は全くの未経験になります。そのため皆さんのお知恵を拝借し、お力添えを頂きながら利用者さんにとって生活し易い居住環境を提供できる施設づくりに邁進したいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

ショートステイ「ふ・ふ・ふ」はケアホーム「アイビー」に併設されている施設で、平成24年1月の開設になります。ケアホームと同じくアットホームな雰囲気の中で、ご利用者様には快適に過ごしていただけるよう努めており、手作りの食事をご好評をいただいております。また設備等も新しく、とてもきれいな環境の中でお過ごしいただくことができます。皆さん是非ご利用下さい。職員一同お待ちしております。

(ショートステイ「ふ・ふ・ふ」 tel 042-662-2620)



■ いちよう工房 みらい

平成24年11月2日（金）～3日（土）みんなが待ちに待った一泊研修旅行でした。浜名湖天然温泉・大井川鉄道と掛川花鳥園をみんなで回りました。大井川鉄道のSLの車両の中では、車掌さんのハモニカ演奏に合わせて♪線路は続くよどこまでも～♪と口ずさんだり手拍子をしたりとても楽しくすごしました。かんぼの宿での夕食では、利用者さんのカラオケショーが行われました。Eさんは、大の巨人ファンで「闘魂込めて」を心を込めて歌いました。お父さんと参加していたSさんはお父さんと一緒に「お嫁サンパ」を身振り付きで歌いました。歌の得意なKさんは二輪草を切々と歌い上げ、皆の拍手喝さいを浴びていました。二日目はうなぎパイ工場見学と掛川花鳥園見学です。うなぎパイ工場では、普段見られない製造過程を見て機械が作りだすたくさんのうなぎパイに感心していました。試食をしたり、お土産を頂いたりみんな満面の笑顔でした。花鳥園では熱帯の鳥や花と遊びました。中には鳥の苦手な利用者さんもいましたが、お花を見たりして楽しく過ごす事が出来ました。帰りのバスの中では、気の早いEさんはとても楽しかったのでしょう「来年の旅行はどこ？」と聞いてみんなの笑いを誘っていました。



■ いちよう工房 ゆぎ

いちよう工房ゆぎでは、昨年12月静岡県南伊豆への1泊旅行を実施しました。約1年半振りとなる宿泊旅行とあって、出発前から皆さんの楽しみにしている様子がひしひしと伝わってきました。待ちに待った当日、まずは新鮮な海の幸を美味しく頂きます。とっても大きなかき揚げ丼が来てびっくり！お腹いっぱい食べ、大満足のランチでした。次に移動した水族館では、間近で観る迫力のイルカショーに圧巻され、愛らしいアザラシの表情には思わず「かわいい～」と溜息が洩れる程でした。宿舎となった下賀茂温泉では、ゆっくりと湯につかり日頃の疲れを癒しました。そして夜は待ちに待ったカラオケ大会！職員とのデュエット、ゆぎでは皆の十八番「3回目の浮気」を大熱唱・大爆笑(?)で、心ゆくまで楽しみました。2日目、バスは南進し、駿河湾を目指します。絶景の恋人岬に息をのみ、かつらぎ山ロープウェイからの展望には満面の笑みでした。沢山のお土産を買った後は富士山を横目に東京への帰路を進み、大ボリュームの2日間の旅路を終えたのでした。出発時はあいにくの曇天で、どうなることか…と思いましたが、そんな心配も吹き飛ばすくらいの皆さんの笑顔と快活さで、1泊旅行を無事怪我なく心置きなく存分に楽しむことができました。



■ いちよう工房 そら

11月9日～10日に箱根・伊豆旅行へ行ってきました。初日の箱根では大涌谷の定番の黒タマゴを1つずつ食べ、皆さん7年寿命を延ばしました。（黒タマゴは食べると7年寿命が延びるとか？）芦ノ湖では遊覧船に乗り、ゆっくりと変化する景色の中でクルーズを楽しみました。夜のカラオケ宴会は美味しいものを食べて温泉に入ったツルツルピカピカの笑顔で、皆さん嬉しそうに歌っていました。翌日は熱川から長岡へ移動してみかん狩りです。農園の人に美味しいみかんの見つけ方を聞き、利用者さんも職員も一心不乱にみかんをもぎとり食べました。急なみかん畑の斜面も気にせずドンドン登るパワーは、すごかったです。みかんの後は伊豆の国パノラマパークにて、お楽しみの昼食バイキングです。創作料理や静岡名物B級グルメ、デザートなどなど食べきれない程の種類と量で皆さん満足そうでした。レストランの上にあるロープウェイに乗り、標高452mのかつらぎ山の山頂展望台へ登りました。山頂からは駿河湾、富士山、箱根など、はるかかなたの景色を見ることができました。お日様がぼかぼかと暖かな山頂は眺めもよく、とても気持ちよかったです。黒タマゴ、遊覧船、みかん狩り、ロープウェイ、バイキングなどなど盛りだくさんの、お天気に恵まれた楽しい2日間でした♪



今回掲載されなかった事業所については、次号以降のいちよう通信で順次ご紹介していきます！

自主製品あれこれ



いちょう工房ぎんなんの家の自主製品でいちばん人気があるのは和風柄の布で作られたしおりです。季節にあわせて様々な柄を使い、彩り鮮やかなバリエーションが大変好評頂いております。しおりの他に箸置き、藍染ミニタオル、藍染手拭い、草木染マフラーなども作っています。

製品は道の駅八王子滝山、高尾山（権現茶屋・^{かすみ}香住売店・ふもとや）、夕焼け農園おおりの家などで常時販売しております。その他月に一度 JR 八王子駅からかてショップでも販売いたします。

（お問い合わせ）いちょう工房ぎんなんの家 八王子市西寺方町 651-1 （tel）042-651-5717

やりますください

欧州などでは一般雇用でも福祉的就労でもなく、第3の雇用形態として注目されているソーシャルファームがあります。平成 22 年に厚生労働省からも報告書が出ていますが障害者、受刑者、高齢者、ひきこもり等を交えて一般社会で、きちんとした賃金をもらうというものです。福祉的就労に完全につかっている現在の当作業所でも現状から少しでも打開すべく日々模索していますが、とりあえず仕事の種類を増やして行きたいとおもいます。

そこで仕事に関する情報アドバイスがありましたら、どんな事でも結構ですので連絡下さい。それから、大変厚かましいお願いですが、もし平成 16 年以降の使用していない穴あけ機があったら、ご一報下さい。よろしく申し上げます。

いちょう工房ゆぎ 電話 042-675-8887 多田

NPO社会企業ネットワーク様と 「お墓のおそうじ代行」契約！！

障害者の方々の就労支援、自立支援を行うNPO社会企業ネットワークの事業である「墓そうじ代行全国ネットワーク事業（通称 まもり隊）」に、法人として契約し、この事業に加わることになりました。

なかなかお墓参りに行くことのできない方の代わりにお墓そうじを行うという仕事をスタートさせることになりました。職員と利用者さんで依頼のあったお墓に出向き、お掃除をし、お花をあげ、お線香をあげる。と言う作業をします。

まずは、“いちょう工房 虹”が始めます。ご依頼者様にはぜひリピーターになって頂き、利用者さんの工賃アップにつながることを目標にしたいと思っています。

ご家族の皆様からのご紹介も是非よろしく願いいたします。

福祉ニュース

「障害ある子を支える信託」

（特定贈与信託）親なき後定期的入金

子供が障害者の場合、親の多くが親なき後の子の生活に不安を感じている。医療費や、施設入居費などで出費がかさむ心配の他、金銭管理の懸念もある。親なき後にも安定した生活を確保するため、「信託」の仕組みの活用が注目されている。親などが、まとまった額の金銭を信託銀行に預け、定期的に障害者本人の預貯金口座に一定額を入金するように設定するのが信託の基本的な仕組みだ。障害年金の給付とは別に、親なき後も長い間、金銭を分割して渡し続けることができる。全額が一度に子の口座に入らないため、犯罪被害や詐欺的な商法で多額の金銭を失う危険も避けられる。現行「特定贈与信託」は、「特別障害者（重度）」のみ 6,000 万円まで贈与税が非課税になる。が、この 4 月から一般障害者（重度以外の知的障害者）も 3,000 万円まで贈与税が非課税になる。詳細は、最寄の信託銀行などにお問い合わせ下さい。（読賣新聞 1 月 27 日朝刊より抜粋）